

へい おまち!

はにゆうしりつとしょかん

【おすし】

「ノラネコぐんだん おすしやさん」

工藤 ノリコ/著 白泉社 E/ノ

まわるおすしが気になったノラネコ軍団が、またまたなにやらからんている様子。夜中にこっそりこっそりお店にしのびこみ…。



「おすしですし!」

林 木林/作 あかね書房 E/オ

ことばあそびのおすし屋さんで弟子入りした、すしおくん。おすし屋さんになるという夢が叶うと信じて、修業を続けるすしおくんですが…。



「ねこのおすしやさん」

鈴木 まもる/作 偕成社 E/ネ

おすしが大好きなねこたちと、潜水艦にも変身するさかなぐるまに乗ったおすしやさん。みんなはいっしょに、海へ釣りに出かけて…。



「おすしのせかいりょう」

竹下 文子/文 金の星社 E/オ

「こんな暮らしはもう飽きた」回転ずしのおすしたちが、ある日突然、こんなことを言い出しました。そして、おすしは店を飛び出して…。



「ポポくんのみんなでおすし」

accototo/作 PHP 研究所 E/ポ

ポポくんのところに、相撲大会のお知らせがきました。横綱に勝てば、賞品に米俵1ひょうがもらえます。ポポくんたちは練習して大会にのぞみますが、一人ではまったく歯がたたなくて…。



「いくらなんでもいくらくん」

シゲタ サヤカ/著 イースト・プレス E/イ

城下町に突然あらわれた「なんでも屋」。その主人は、なんといくらのお鮓でした。お城に連れてこられたいくらのお鮓は、お殿様から無理難題を言われ…。



「おすしがあるたびにでた」

田中 達也/作 白泉社 E/オ

マグロのおすしが、山へ、海へ、砂漠へ旅に出た! 向かった先は「おすしシティ」。どんな冒険が待っているのか? 身近なものの本物そっくりの何かに見立てる、楽しい写真絵本。



「どすこいすしずもう」

アン マサコ/作 講談社 E/ド

イカ、タコ、サーモン、イクラ、大トロ…。おすしとおすしの真剣勝負。はっけよーい、のこった! すし力士たちの熱きたたかを描いた絵本。



「すすめ!かいてんずし」

岡田 よしたか/作 ひかりのくに E/ス

回転ずしのレーンがお店の外へとどんどん続いていきます。ジャングルを抜けて、電車と並走し、海まで来ました。すると、ネタたちは海へジャポンと飛び込んで…。



「おすしやさんにいらっしやい!」

おかだ だいすけ/文 岩崎書店 E/オ

海で生きているところを釣り上げられた魚。どんな魚なのかな。次は、魚をさばくよ…。魚がおすしになるまでを写真で紹介し、命をいただいて生きていることを伝える。



「おいなりさん」

もとした いづみ/文 アリス館 E/オ

頭がいなりずしのおいなりさんは、書道教室の先生。おいなりさんの暮らしを、ちょっとのぞいてみませんか…。



「みんなのおすし」

はらぺこめがね/作 ポプラ社 E/ミ

へい、らっしやい! うちのおすしは、みんなのおすし。ちょっと変わったお客さんにも、ぴったりのおすしを握りますよ…。



「こんやはてまきずし」

五味 ヒロミ/作 岩崎書店 E/コ

今夜の晩ごはんは、手巻き寿司。サーモン、まぐろ、いか、たこ、イクラ、なっとう、たくあん、ハンバーグ!? 家族みんなで、どんどん巻こう! 手巻き寿司の楽しい絵本。



「ながれながれてながれずし」

うどん あこ/文 アリス館 E/ナ

てっかまきのすけたちは、急ぎすぎて自分だけ小舟に乗ってしまったという、しゃりちゃんとうえいに出会います。しゃりちゃんの上には何が乗るのか、考えていると…。

